

東海北陸地協

医学生をつどい 開催！

テーマは「原発」
～医学生としてフクシマとどう向き合うか～

3月9～11日、東京・港区で開催され、東海北陸の医学生が参加をしました。

一日目は長瀬文雄さん(全日本民医連事務局長)の講演を聞き、体調不良で来られなかった広島原爆の被爆者で、医師である肥田舜太郎医師の講演DVDを視聴しました。その後いくつかのグループに別れディスカッションしました。安全神話、原発事故、原発と地方行政、内部被爆、国と東電の対応、医師の対応、支援のあり方について討論がされました。

二日目の午前中は福島県の農家の代表の方、こころのケアチームで震災支援に参加をした埼玉協同病院の雪田医師からお話を聞きました。3.11以来起こっていることが被災者の目線で詳しく報告されました。避難するか、残るか、家族父母も巻き込んだ葛藤「行くも地獄、行かぬも地獄」の手記なども紹介されました。

午後からはホットスポットと呼ばれ関東の部分的に放射線量の高いエリアに立

地する東葛病院(千葉県流山市)で放射線測定を行いました。平均して愛知県の5倍、多いところで最大値が600倍、雑木林の枯葉の上など水の流れが集まるようなところが高値でした。地域住民の方は「1年たってもこの値、地面だけでなく建物も汚染されていると思う。今は部分的な除染をしているにすぎない。」と話してくれました。

三日目のまとめ企画では、医学生として、医療者として何ができるのか話し合いました。「知識として知っていたけれど第3者の立場でいた、現地の人から聞いたことで身近な問題として感じた。」「震災・被爆についてずっと関心をもっていきたい。今回のつどいは医師像を考える出来事の一つになった。」などの意見が出され、今回のつどいは被災地から離れた地元では感じられない、実際の健康被害、将来まで続く不安など自分たちのことと感じ、考えることができた3日間となりました。



最終日、ここで学んだことを忘れないために、私たちの決意を書きました。



その決意の前で、集合写真。交流もたくさんでき、東海北陸の絆を深めました。



放射線測定のFW。ホットスポットも見つけました。



KJ法を使って班の意見をまとめています。



ごみや水がたまりやすいところは、線量が高いようでした。



福島の方々から切実な想いがうかがえました。

ご案内

高校生通信のアンケートに答えて

図書カードをもらっちゃおう♪

高校生通信初夏号、いかがでしたでしょうか？一日医師体験でお会いできる事を、編集者一同、楽しみにしております。よりよい紙面作成のため、アンケートにご協力ください。アンケートに答えて頂いた方に、図書カードをお送りいたします。(応募者多数の場合は抽選になります。)

応募は
携帯・パソコン
どちらからでも
可能です。



QRコードか、下記のURLからアクセスをお待ちしております。
<http://aichiminiren.jp/tsuusin/>

愛知民医連奨学金制度のご案内

対象：医学部・医学科生(医師をめざす方)

将来、地域に根ざし患者さんの立場にたった良い医療を私たち民医連とともにめざし、担っていく意思のある医学生さんを対象に愛知民医連は奨学金制度を準備しております。

奨学生になると

医学生同士の全国的な交流や学びの場を持つことができます。

充実した学生生活のために、愛知民医連奨学金制度をお勧めします。

地域に根ざし患者さんの立場にたった良い医療をめざして
愛知県民主医療機関連合会(愛知民医連)

事務局：〒456-0006

名古屋市中熱田区沢下町9-3 労働会館 本館3F

TEL : 0120-193666(フリーダイヤル)

052-883-6997(代表)

FAX : 052-889-2112

Email : niwa@aichiminiren.jp

URL : <http://www.aichiminiren.jp/>



実習・奨学金のお問い合わせ・お申込みは 担当：丹羽まで

愛知民医連と医学部をめざす高校生・受験生をむすぶ

高校生通信

Vol.9

初夏号

2012.5月発行



表紙写真：2011年夏 高校生一日医師体験より

高校生通信担当者より 皆さんの夢、サポートします。

昨年8月、高校生・受験生の受け入れを行いました。通常の医学生実習とは準備など全く異なり、実は結構たいへんなのですが、提供するもの一つ一つ皆さん新鮮な受け取り方をしてくれるので受け入れ自体は面白かったです。

このとき来てくれた方が見事医学部に合格され、年度が明けて愛知民医連の新歓企画に友達を連れて参加してくれました。

協立総合病院 医局事務長 桜井隆光



医師からの

メッセージ



総合病院南生協病院
2年目研修医

長谷川千穂医師
(富山大学11卒)

高校生のみなさんへ

はじめまして、私は愛知民医連の2年目研修医として総合病院南生協病院で研修をしている長谷川千穂と申します。

このパンフレットを手にとっている高校生の皆さんはもう既に医師を志しているのでしょうか。それとも何となく目にとまって手に取っているのでしょうか。

私が医師を志したのは27歳の時です。崖っぷちからの挑戦でした。毎日が不安で自分の選択が正しいのか迷い続

けました。しかし、こうして無事に研修医になれたのは心の中で「自分の限界を決めるのは自分自身」言い聞かせてきたからだだと思います。自分の限界を試してみたいような事に出会えていないと思ってしまう高校生の方々にこそ、私は一日医師体験に参加してもらいたいと思っています。

お会いできるのを楽しみにしています。

高校生
予備校生

一日医師体験に行ってみよう♪

医師をめざしている高校生・予備校生のみなさん！

一足先に医療現場を体験してみませんか？

2011年度、夏の一日医師体験は、約21校の学校から、86名の参加がありました。

医学部受験のモチベーションもきっと高まるはず！

私たちの病院で、医師としてのやりがいを感じてみてください。



まずは病院について知ろう！

病院はどんな地域にありますか？住宅地？工業地帯？どんな人たちが暮らしていますか？その病院がある地域の事を知ることはとても大事です。

また、病院案内ではいろいろな場所を見学します。普段は病院の表の顔しか見ることができませんが、病院がたくさんの人たちの力で成り立っていることを知ってもらいたいからです。

また、私たちの病院は患者さんや地域の方々への想いが詰まった病院です。じっくり見学してみてください。どんなところに工夫や想いが見えてくるでしょうか。



病院の様々な機能を知ろう！

病院には様々な部門があります。医師が患者さんを診察する診察室や、採血などをする処置室、放射線や磁場を使って体の内部を撮影する放射線室、人間の血管や臓器の動きを見たりする検査を行う生理検査室、手術が行われる手術室などなど…。たくさんの機能や部門から病院が成り立っています。

見学をすると、新たな発見があるはず。この機械はどのように使うのか、検査室ではどんなことが検査できるのか。ぜひ現場の職員にたくさん質問をぶつけてみてください。体験もできちゃうかも！！

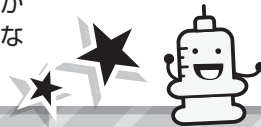


さあ、いよいよ現場へ!!!

さあ、いよいよ現場に入ってみましょう！

病院で患者さんはどのように治療・生活されているのでしょうか？どんな人が病院に来ているのでしょうか？医師はどんなことを大切に患者さんと接しているのでしょうか？看護師さんや他職種は患者さんとどのように関わっているのでしょうか？患者さんが食べる食事はどんなものなのでしょうか？

一日医師体験では、自分の目で見て、耳で聞いて、体感することを大切にしています。日々、命と向き合う医療従事者について知ってほしいと思います。わからないことがあれば、医師や他の職種に聴いてみましょう。あなたが将来を見つめるためのお手伝いをしたいと思っています。



医師をめざすあなた！
ぜひ一日医師体験へ！！

メッセージ

これから医学部を目指す
高校生にメッセージを！



岩手医科大学
医学部1年
K.Iくん

私は、高校三年生の9月に医師体験に参加しました。当時の私は、夏を過ぎてから勉強が停滞していました。成績がなかなか上がらず、今年度の入試での合格は厳しいと感じ始めていた時期で、医学部に入るんだ、というモチベーションは下がっていました。そんなとき、たまたまホームページで一日医師体験をみつけ、医療系の大学をめざす友達とともに参加を申し込みました。医師体験で最も印象に残ったことは、病理の見学でした。直に患者さんと接する診療科と違い、それまではイメージしづらかった病理科での医師の役割がよく分かりました。

医学部入試では、ほとんどの大学で面接が課され、医療への関心を問われることがあると思います。そんなとき、医師体験の経験が大いに生かされるでしょう。また、今一つモチベーションが上らない医学部受験生や、これから医療職を目指すという人にとって、とてもよい刺激になると私は思います。



富山大学
医学部1年
Y.Sさん

私は昨夏に地元の病院で一日医師体験をさせていただきました。体験に参加するまでは地域医療や医師という職業に対して漠然としたイメージを抱いていただけでした。しかし認知症のために意思疎通ができなかったり行く当てがなく退院できなかったりする患者さん、そしてその患者さんを支えようと努力する医療従事者の方々に出会い、現代医療が抱える問題や医師の仕事の一端を垣間見ることができたと思います。

医学部の受験生に伝えたいのは、職業や医療について自分なりの考えを持ってほしいということと、夢の実現のために今出来ることを精一杯してほしいということです。みなさんの夢が叶うよう応援しています。



“この地域”とともに 私たちのドクター！

誰もが安心して相談できて頼りになる病院に

総合病院 南生協病院院長 長江 浩幸



南生協は伊勢湾台風の被災者救援活動の中で、地域住民の力で作られた医療機関です。その後、50年の間に、6万人の生協組合員を有する、医療・福祉・介護の協同組合に成長してきました。生協で医師として働く中で常に感じるのは、患者さん・家族とスタッフの距離の近さです。各科が専門分化するなか、生協病院がすべての患者さんを最初から最後まで診ることは難しく

なっています。それでも、職員や組合員さんにとって、何かあればまず相談できる病院でありたいと思います。私が担当する緩和ケア病棟は、がんの患者さんたちの最期まで生協病院で診てほしいとの想いを受けて開設されました。人は誰でもいつか寿命が来ます。緩和ケア病棟では、最期のその時まで、人として大事にされた、人と人の絆に支えられたと感じていただけることを重視しています。「時には治療し、しばしば苦痛を和らげ、常に慰める (To Cure Sometimes, Relieve Often, Comfort

Always)」という言葉があります。医療はまずは救急救命が第一です。しかし、治らない、治せない方もあり、老いはだれに否応なく訪れます。そんな中で南生協病院は誰もが安心して相談でき、いつでも頼りになる病院であり続けたいと思っています。

高校生の皆さん、医療従事者を志す皆さん、医師体験や各病院で行われるイベントなどで、少しでも医療従事者として成長する上で、人として成長する上での大切なものに触れていただければ良いと思います。

一日医師体験

実施病院案内

南医療生活協同組合
総合病院南生協病院

名古屋市緑区大高町平子36
Tel.052-625-0373



大野

北医療生活協同組合
北病院

名古屋市北区上飯田南町2-78
Tel.052-915-2384



池田

みなと医療生活協同組合
協立総合病院

名古屋市熱田区五番町4-33
Tel.052-654-2211



丹羽



桜井

医療法人名南会
名南病院

名古屋市南区南陽通5-1-3
Tel.052-691-3171



平澤

医療法人尾張健友会
千秋病院

一宮市千秋町塩尻字山王1
Tel.0586-77-0012



河田

愛知民医連の一日医師体験は、上記の医療機関で行っています。四季を問わず、診療を行う平日に体験可能です。

一日医師体験のお申し込みは、随時募集しています。
巻末の連絡先までご連絡ください。

このドクター漫画が おススメ!!

医師／棚橋 千里
総合病院南生協病院
病理医
名市大93年卒



「ルシフェルの右手」

講談社モーニングKC 著・芹沢直樹

今回は珍しく、「ものすごく劇画！しかも、笑いの要素まったくなし！」のドクター漫画を紹介します。

外科医の勝海由宇は、アフリカで医療ボランティア中に内戦に巻き込まれ、治療中の患者を守るために兵士を銃で殺してしまいます。人の命を奪ってしまったという自らの行いを「医師失格」と思いつめ、帰国してからも自暴自棄な生活を送っていました。

しかし、ひょんなきっかけから、ワケありの患者ばかりを治療するクリニックを経営する院長・皆戸野にひろわれ、そこで働くことになります。患者はやくざやチンピラだけではなく、国民健康保険にも入れない貧しいくらしをする人たちでした。

さて、気は進まないものの、そこで働き始めた勝海でしたが、緊急の手術が必要な患者が何人もかつぎこまれたとたん、なんと皆戸野が脳出血で倒れてしまいます。さあ、勝海、どうする…！
すさんだ生活をする人々に関わりながらも、

勝海が医師を目指した理由や、皆戸野のおもいがけない関係も明らかになっていくのも興味深く読めるところです。

さて、皆戸野のクリニックとは少し違いますが、私たち民医連の病院の中には「無料低額診療」を行い、生活もままならない人たちの命を守ろうとがんばっている病院が各地にあります。「無料低額診療」とは、低所得者やホームレス、DV被害者など、生計困難な方を対象として、診療にかかった自己負担分を無料にしたり、減額したりする制度です。これを行うには、一定の条件と都道府県の認可が必要です。

みなさんは、今、どんな生活をしていますか？何不自由なく、くらしていますか？

裕福な人と、そうでない人の二極化が進む今の日本では、このような病院がなければ、医療をうけられない人が増えているのです。

この現状、みなさんは、どう考えますか？

そんなことも考えながら、真剣に呼んでほしい漫画です。